

丹後地域振興計画（中間案）の概要

※主な改正内容を抜粋しています。

1 地域の将来像（20年後に実現したい姿）

安心して「元気」に住み続けることができ、希望が持て夢が実現できる丹後地域

- 大規模自然災害等にも対応できる地域強靱化の取組が進み、誰もが安心して健康に生き生きと住み続けることができる「安心・安全な地域」
- 観光、ものづくり、農林水産などの地場産業が栄えるとともに、新たな産業を生み出す「活力のある地域」
- 丹後に住み、丹後に関わることを希望する一人ひとりがそれぞれの力を発揮しながら地域産業やコミュニティを担う「誰もが活躍できる地域」

2 施策の基本方向

(1) 住み続けることができる安心安全な地域づくり

地域産業の営みや人々の暮らしの下支えとなる、災害に強い安全な地域、安心して元気に住み続けられる地域づくりを推進

- ・出生数の減少に歯止めをかけ、子どもの明るい笑顔があふれるいきいきとした地域づくりを進めるため、若者や女性を地域に惹きつける取組を推進
- ・子育てしやすい地域づくりを進めるため、子育て支援活動に取り組む団体の創出やネットワーク化を支援
- ・子育てにやさしい風土づくり推進のため、「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」や、きょうと子育て応援パスポートアプリ「まもっぷ」の普及を促進
- ・新たな感染症の発生時にも対応できる体制を整えるため、感染症患者等を受け入れるために医療機関が行う研修や、介護施設における感染症対策の取組を支援
- ・地域公共交通の利便性向上による生活の足の維持・確保のため、路線バスネットワークの維持や乗合タクシー・自家用有償旅客運送の活用を支援

(2) 地域が誇りを持てる活力ある産業づくり

観光、織物、機械金属、農林水産などの地場産業が、さらに発展していくための取組を進めるとともに、新たな産業を創造するなど、地域が誇りを持てる活力ある産業づくりを推進

- ・天橋立エリアの観光の魅力向上のため、丹後郷土資料館のリニューアルを核とした丹後の文化観光を促進
- ・丹後の自然に育まれた豊富な食材を生かした観光誘客を図るため、食を目的に周遊する「食の観光」を推進
- ・丹後織物産地の振興のため、「TANGO OPEN CENTER」を核とした新商品づくりや販路拡大を支援
- ・課題解決を目的とした異業種との連携による製品開発を支援するとともに、最先端技術機器を活用したものづくり技術のレベルアップを図るための取組を推進
- ・低コスト・高収益な営農体制の確立と経営基盤強化のため、集落連携によるメガ団地形成の営農モデル構築や、企業連携による人材確保の取組を支援
- ・丹後フルーツの安定的な生産維持を図るため、高齢化で離農する農家から若手農家への経営の継承を支援

- ・金融機関、経営支援機関が一体となった伴走支援体制を確立し、厳しい経営環境にある中小企業の経営を支援
- ・宮津エネルギー研究所用地を活かした脱炭素などサステナブルな社会を目指す産業の集積と世界と交流するオープンイノベーション拠点の形成を支援
- ・山陰近畿自動車道の早期全線開業のため、京丹後大宮 I C～（仮）網野 I Cの整備及び（仮）網野 I C～（仮）豊岡 I Cまでの区間のルートの確定を促進

(3) 地域を支える人材の確保・育成

地域の活力の源となる人材の確保・育成を進めることにより、さらに地域全体が活性化する好循環を実現するため、誰もが活躍できる地域づくりを推進

- ・地域の活力の向上を図るため、地域活動や起業等にチャレンジする若者を支援するなど、地域で活躍する若者を後押し
- ・地域を支える人材を確保するため、都市部で活躍しながら丹後と関わる副業人材など、多様な産業人材の確保に向けた取組を支援
- ・移住のさらなる促進のため、丹後に興味を持つ若者と地域を支える魅力的な人材との交流を促進
- ・移住促進条例に基づき、移住促進特別区域を拡大するとともに、移住者や関係人口が地域社会の担い手として活躍できる地域づくりを推進
- ・関係人口の拡大やコミュニティ活性化のため、地域外の人材・資金等と地域をマッチングする取組を推進
- ・次代の地域づくりの担い手を育成するため、丹後の歴史、文化、伝統産業に関する学習を通じて、丹後への誇りと愛情を持つ学校教育を推進

3 広域連携プロジェクト（エリア版）

- 京都府北部地域連携都市圏広域連携プロジェクト